

おおいた
大茶会
2018 10/6土→11/25日

いよいよ今年、大分県で「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」が開催されます。大分県での国民文化祭開催は20年ぶり2回目で、全国障害者芸術・文化祭と合同の開催になります。今回のテーマは「おおいた大茶会」です。

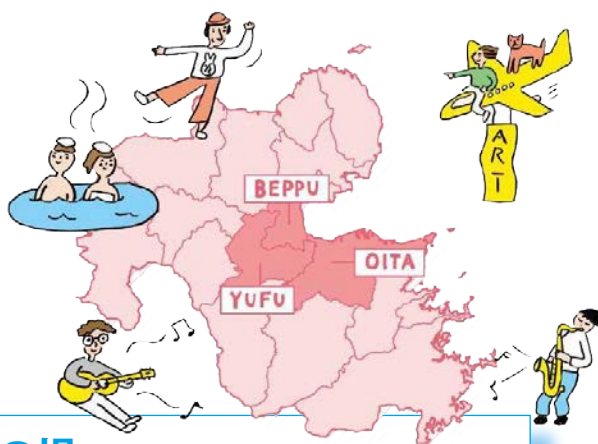
☎ 国民文化祭準備室（文化国際課内） ☎ 21-1131

おおいた大茶会とは

子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、誰もが参加し楽しむことができる大会、芸術文化の新しい出会いや発見のある大会であるとともに、大会を通じて地域が元気になる、多くの人材が育っていくことを目指しています。



ロゴマークは、野点傘のだての下に文字が集まっている様子から、大茶会に様々な文化や人が集まり、新しい出会いと発見を通して成長することを表現しています。



別府から世界へ

両文化祭の開催により、国内外から多くのお客様が大分県、そして別府市を訪れる予定で、別府市の良さを世界に発信できる良い機会となります。

別府市全体で機運を高め、市民の皆さんにとっても、素晴らしい出会いを提供できるよう、また文化や芸術にあふれた充実した2か月になることを目指し準備を進めています。詳細情報はホームページなどを通じてお知らせしていきます。



出会いの場

大分県での両文化祭は、文化+観光+地域振興事業として実施。県内を5つのエリアに分け、それぞれにテーマを設け、テーマに沿った芸術文化事業を展開します。

別府市、大分市、由布市エリアのテーマは「出会いの場」とし、お客様を県内各エリアに送り出す大会の玄関に位置付けます。

公式ホームページで最新情報発信中！

<http://www.oita-kokubunsai.jp/>



第33回 国民文化祭・おおいた2018

第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

大会旗リレー始まる ～別府市で始発式～

昨年開催地の奈良県から引き継いだ大会旗を、県内18市町村で巡回する大会旗のリレーが始まりました。別府市はトップバッターとして、1月19日に県の国民文化祭・障害者芸術文化祭局長から大会旗を受け取り、1週間市役所ロビーに展示した後、次の日出町に引継ぎました。

大会旗は、両文化祭の周知と機運醸成のため、9月下旬まで県内を巡る予定です。



別府市で開催予定の事業

↑リーディング事業

インベップ in BEPPU 10月6日(土)～11月25日(日)

「in BEPPU」とは、別府で毎年国際的に活躍する1組のアーティストを招いて行われる個展形式の芸術祭で、3回目の開催となる今年は、文化祭の特別連携事業として行います。期間中は著名なアーティストによる芸術作品を市内数か所で観覧することができます。詳細は決定次第お知らせします。皆さまご期待ください。

↑分野別事業

国民文化の象徴「将棋の祭典」	10月12日(金)～14日(日)
ニッポンの祭り唄・盆おどり全国大会	10月14日(日)
湯けむりたなびく温泉地別府 川柳の祭典	10月21日(日)
九州マーチングバンドの祭典	10月27日(土)～28日(日)



豊後南画「過去・現在・未来」への誘い	11月1日(木)～6日(火)
連句の祭典	11月3日(土・祝)～4日(日)
新時代を切り開く「邦楽の祭典」	11月18日(日)
別府市アール・ブリュットの芽ばえ展	11月中旬
湯にば～さるファッション in べっぶ	11月23日(金・祝)

◀湯にば～さるファッション in べっぶ



おおいた大茶会盛り上げ隊員

県内各地で芸術や文化活動などに携わっている方々で構成され、別府市は2人が隊員として、大会のPR活動などを行います。

◎原野彰子さん

障がいのある仲間とアート活動しています。国文祭・障文祭で多くの人に『障がい者アート』を知ってもらいたいと思っています。



◎伊藤萌夏さん

別府翔青高校の美術部部长として経験してきた事を活かし、県民の皆様の方に残る大茶会にしたいです。

